



2023年度事業計画

一般社団法人沼津青年会議所

基本理念

支え合いの気持ちを大切にし
情熱をもって全力で未来へ繋ぐ

基本方針

1. 節目を契機として、正会員全員で沼津の未来を創造する
2. すべての活動を通じて、成し遂げる力を醸成する
3. 出会いの機会を活用し、可能性を広げる
4. 組織強化に繋げる10名の会員拡大

2023年度 JCI沼津スローガン

真っ向勝負で想いを繋げ！
沼津の未来を共に創ろう！

2023年度 理事長所信

理事長 竹村 俊克

【はじめに】

沼津青年会議所は1954年に戦後の地域経済の復興及び地域社会の発展を目的として設立され、本年度で創立69年を迎えます。これまでの歴史の中で、様々な地域社会の問題と向き合ってきました。

近年の、新型コロナウイルスの感染拡大は人々の生活を大きく変化させました。加えて、その他の経済や社会の情勢もこの地域に暗い影を落としています。また、かねてよりの課題である大型地震への対策に加えて、豪雨災害への対応も求められています。さらに、人口の減少や、中心市街地の衰退など解決しなければならない様々な問題も抱えています。

危機の時代、変革が求められる時代だからこそ、沼津青年会議所は、会員一人ひとりが強い意志を持った次世代のリーダーとなり、明るい豊かな社会の実現のために活動を続けてまいります。

【節目を契機として】

未来を描き行動していくうえで、節目というものがとても重要です。節目は1つの区切りとして、過去を振り返りそれをもとに何に取り組み、どのように行動するべきかを模索する大切な機会となります。

沼津青年会議所は来年創立70周年という節目を迎えます。諸先輩方は、それぞれの時代にこの地域が抱えていた問題に対して知恵を出し合い、問題解決のために行動をされてきました。それぞれの時代に地域がどのような課題を抱え、青年会議所としてどのように向きあい、そして地域の問題を乗り越えてきたのかを振り返ることは、私達が現在抱えている問題を解決するうえで、ひとつの指標となります。

また、沼津市は本年市政100周年という節目を迎えます。沼津市も新たな一步を歩み出す中、今後も沼津青年会議所が地域社会において重要な役割を果たすことができる団体であり続けるために、時代に即しどのような活動をしていくべきかを考えることは沼津青年会議所の未来を創造する上で極めて重要なことです。

本年度、沼津青年会議所は節目を契機として過去を知り、学ぶことで未来へ繋げる一年とします。

【このまちを変える力を】

このまちを変えるためには、様々な力が必要となります。その中でも、最も大切な力、それは「実現力」だと私は考えます。素晴らしいアイデアは、実現されることが重要です。青年会議所は地域の社会の課題を解決することで持続可能な地域を創る為に活動をする団体

です。地域社会にとっての課題を柔軟に考え、かつ、「最後までやりきる」という情熱を持つ人だけが、問題を解決することができます。これこそが、地域社会のリーダーに求められる最も重要な資質だと確信しています。

しかしながら、当然、この地域が抱えている問題は簡単に解決できるものではありません。事業を考える段階では毎日のように悩みます。実施する段階でも様々な困難に直面します。時にはくじけそうになることもあります。その中で、会員同士が協力し合い、手を取り合っ乗り越え、事業を最後までやりきることで、大きな感動を得るとともに、個人としても成長することができ、地域社会の方々に喜んでいただくことができます。その積み重ねが「実現力」の向上に繋がります。

本年度、沼津青年会議所では、これまで以上に、何事も最後までやりきること、支え合いの心を意識して活動に注力していきます。

【出会いの機会を活かして】

青年会議所は志を高く持った仲間と出会い、交流する様々な機会があります。

沼津青年会議所の仲間とは、共にこの地域のために何ができるかを考え、悩み、汗をかくことで、かけがえのない友情を築くことができます。私自身、一人では挫折してしまうようなことでも、青年会議所の仲間と支え合い、また知恵を出し合っ乗り越ることができたという経験が何度もあります。また、青年会議所の活動を通じ、沼津市の様々な人と出会い、意見を交わすことができます。沼津市の行政に携わる方、多種多様な企業や職業の方、地域の活性化のために活動する多くの団体の方、学生の方など、様々な方とこのまちについて議論を交わすことで、見識を深めることができます。

さらに、地域の枠を超えて出向することや各地で開催される会議や大会に参加することで世界中・日本中に存在する地域のために活動する青年会議所の仲間と出会えます。そこで、相互に情報や意見を交換し、他の地域での取り組みや、その結果を知ることができます。また、台湾には特に親交が深い仲間がいます。沼津青年会議所は龍山国際青年商會と姉妹締結をしており、長きにわたり交流を続け、本年度は姉妹締結から40年目となります。多くのメンバーと共に台湾を訪問することで龍山国際青年商會との絆をより深めてまいります。

20代・30代という若い時期から仲間と切磋琢磨し、多くの方々と出会うことで刺激を受けることで個人としての成長、ひいては組織や地域としての発展に寄与するという他では得難い経験ができます。この出会いの機会を活かすことで、個人や組織としての成長、地域としての発展に繋がっていきます。同時に、多くの新しい沼津青年会議所の仲間を迎えることで多種多様な意見に触れることができ、結果として沼津青年会議所としての組織力強化に繋がります。本年度は10名の新入会員を迎えることを目標に活動してまいります。

【さいごに】

私たちは、「修練・奉仕・友情」の3信条のもと、地域社会に貢献しながら、次世代のリーダーとなるために日々活動をしています。青年会議所には多くの成長の機会があります。与えられる機会は様々ですが、そのすべてが自らの成長に繋がります。新しいことに挑むには勇気や覚悟が必要です。今まで経験したことがないからという理由で、失敗を恐れて前に進みだせないこともあるかもしれません。しかし、自分自身を磨き、成長させるためには、機会を黙って待っているのではなく、主体的に行動しなければなりません。

沼津青年会議所では多くの先輩たちが、困難な状況や課題を解決するために活動してきました。その実績と経験こそ、私達が地域から信頼される団体となっている最大の理由です。私たちには、自らを磨き、地域に貢献するという、先人達から受け継がれてきた志を絶やさず、次世代に繋げていく責任があります。

共に大いに学び、支え合い、情熱を持ち、
全力で活動していこう。
未来を創るのは我ら青年だ！

副理事長所信

副理事長 小野 大輔

「カッコいい大人になる」私が入会当初から常に自分の指針として掲げている言葉です。OBである父の背中を通して見てきた沼津青年会議所の門を叩いてから4年が経ちました。入会してからというもの、自分も子供の頃から見えてきた先輩方と同じような考え方や言動が自然と身につくと思ひ日々青年会議所活動に取り組んでまいりました。しかし、J C I Missionに「opportunities」という言葉が使われているように、青年会議所で与えられるものは好機を表す「チャンス」ではなく、あくまで「機会」です。ただ待つだけではなく、自ら掴むために行動しなければ成果は得ることができません。

本年度仰せつかりました副理事長という役職も、最後までやり遂げることで副理事長という役職に見合う人間になれるという、更なる成長の機会を与えていただいたと思っております。竹村俊克理事長に与えていただきましたこの機会を無駄にすることなく、一つひとつの事に真摯に向き合い、やり遂げることで、胸を張って副理事長だと名乗れる人間になれるよう精進いたします。

また、本年度は殆どの正会員が所属する会議体である、70周年準備特別会議の議長という機会もいただきました。地域社会において重要な役割を果たす団体であり続けるためには、時代に即した変革を実行する勇氣、そしてそれを実現する力が求められます。しかし、その変革を行うためには、これまで沼津青年会議所がどのような軌跡を歩んできたのか、その歴史や想いを知らなくてはなりません。来年の70周年を迎えるために準備をする今だからこそ「温故知新」を重んじ、先人達から受け継がれてきた志を絶やすことなく、全員一丸となって70周年を迎えることができるよう活動してまいります。

最後になりますが、これからも沼津青年会議所が未来を担う青年の団体であり続けるべく、副理事長として正会員の規範となれるよう率先して何ができるかを常に考え、実行してまいります。一年間どうぞよろしくお願いいたします。

副理事長所信

副理事長 高木 隆太

1954年に戦後の地域経済の復興及び地域社会の発展を目的として沼津青年会議所が誕生して68年が経ちました。諸先輩方が繋いでこられた沼津青年会議所の副理事長という大役を仰せつかり、またこのような機会を与えていただいたことに心から感謝申し上げます。

私が2016年に入会し、気づけば今年で8年目となります。入会以来、希望に満ち溢れた沼津の明日のため熟慮し、前向きに活動し続け、限界を打ち破るべく仲間と協和しつつ、辛い状況でも楽しむことを忘れず、きらめく未来を描き運動する沼津青年会議所で様々な経験をさせていただきました。

今年度は竹村俊克理事長のもと、沼津青年会議所の伝統を守りながらも、より良い組織となるために過去を知り、学ぶことで未来を見据え、時代に即した地域社会のリーダーたりえる人材を育成できるよう精一杯活動して参ります。

芹澤俊和委員長率いる総務・財務委員会は沼津青年会議所に欠かすことのできない縁の下の力持ちです。事務局の管理運営や財務管理など、ほかの会員の目には見えない多くの担いがある一方で、そのうち一つでも滞ってしまうと会の運営そのものに影響を及ぼしてしまいます。副理事長として定款などに定められた業務が確実に遂行されていくよう、常に気を配り円滑な青年会議所活動が執り行えるよう努めて参ります。

堀江直樹君は研修担当理事として、会員の資質向上に関する業務や新入会員育成セミナーを担います。私たちの活動の源となる「人」を育てることは組織の発展に繋がります。委員会をもたない理事であるため副理事長として二人三脚で、会員が情熱と実現力を備えた次世代のリーダーになれるよう資質向上につながる機会を提供していきます。

最後になりますが、入会時は若手であったはずの私も、今となっては歴が長い古株のようになってしまいました。その中で多くの役職を経験させていただき、学ぶ機会をいただきました。自身の経験を活かし様々な機会を提供する側として、芹澤俊和委員長、堀江直樹理事と真っ向勝負で向き合い、支えあって精一杯活動して参ります。一年間どうぞよろしく願いいたします。

副理事長所信

副理事長 若林 愛弓

沼津青年会議所は創立以来、時代の変化と共に、その時々地域に求められる運動を展開し、魅力ある団体として、その歴史と伝統を築いてきました。多くの先輩方が、このまちの「明るい豊かな社会」の実現のために活動してこられました。日々の努力により自己を高め、志を同じくする仲間と共に活動をしてきました。沼津青年会議所の一員であることに誇りを持ち、これまで途絶えることなく受け継がれてきた伝統を継承しつつ、時代に即した活動を展開し、竹村俊克理事長のもと邁進してまいります。

本年度の基本理念にもある「支え合いの気持ち」は共に運動を展開していく本組織において必要不可欠であるといえます。日々、青年会議所運動に取り組む中で、様々な困難に直面します。しかし、一人では挫折してしまうようなことでも、仲間とともに悩み、行動を共にすることで、かけがえのない友情を築き、乗り越えることができます。友情を育み、支えあうことが出来る組織であり続けるために、何が出来るかを会員・拡大委員会と共に考え、行動してまいります。

また、多くの仲間がいるということは、多種多様な意見が挙がり、意識や価値観が広がります。仲間が増えることで、互いに切磋琢磨し合い、組織全体の活性化にも繋がります。藤川淳委員長を筆頭に、会員全員で取り組める会員拡大活動を実行するなど、10名の新入会員を迎えるために尽力いたします。

最後になりますが、私自身、2022年度まちづくり委員長を務めさせていただく機会がありました。その際、多くのことを学び、大きな成長に繋がりました。副理事長という機会をいただいたことに心から感謝し、この成長する機会を逃さぬよう自身も精進してまいります。竹村俊克理事長をお支えし、副理事長としての責務を全うする所存です。2023年を振り返る時に、未来に繋げることができた一年だったと思えるよう活動してまいります。一年間よろしくお願い申し上げます。

専務理事所信

専務理事 小澤 隆

竹村俊克理事長が所信の中で大事にされているもののひとつに「繋ぐ」という言葉があります。

沼津青年会議所は多くの先輩方の努力があってこそ今があり、先輩方は沼津周辺のこの地域に対して懸命な想いで社会貢献をしてこられました。それを途絶えさせてはならない、繋いでいかねばならない、という気概が感じられるものではないでしょうか。

「繋ぐ」という言葉については、私は人生哲学とも関係すると考えています。「人生に意味はあるのか」と考えた時、極論としては、意味など無いのかもしれませんが。誰もがいつかは人生を終え、地球も宇宙も人の命と同様に有限でいつか終わりを迎えます。

では、時間に限りある人生の中で、何に光を見出し、大事にするべきか。そのひとつは、社会貢献などを通じて、何かを「繋ぐ」ということであると私は考えます。人が人として生きていくために何を繋ぐべきであるのかは、よく議論するべきところでしょう。この組織においては、先輩方の心意気を繋ぎ、地域の宝を繋ぎ、希望を繋ぐこと、そして沼津青年会議所そのものを途絶えさせず、未来へ繋いでいくことを常に念頭に置いて活動してまいります。

本年は、渉外・広報委員会を担当致します。松山冬輝委員長と強固な信頼関係を築いて渉外及び広報活動を推進してまいります。特に、台湾の龍山国際青年商會との関係を更に強固な絆で繋ぐことに力を注いで参ります。龍山国際青年商會とは直接対面での交流がしばらく行われていません。本年度、台湾をお訪ねして皆様にお会いし、これまでの素晴らしい関係を途切れさせず、より良い関係にしていけるよう努めてまいります。

また、専務理事としては組織の円滑な運営がなされるよう全体に気を配り、良い雰囲気率先して作っていくため、困っていることや不安がないか、会員一人ひとりに積極的に声をかけ、時には手を差し伸べることで信頼関係の構築に努めてまいります。理事長がお考えである「支え合い」の精神を組織全体に浸透させるには、専務理事の努力が重要であると自覚しております。

本年度は69周年です。70周年に向けた動きも始まる非常に重要なタイミングです。沼津青年会議所を、社会奉仕を通じて公益に尽くす団体として更に昇華させるため、気を引き締めて活動に邁進してまいります。

70周年準備特別会議事業計画

	議 副	長 長	小 芹 藤 堀 松	野 澤 川 江 山	大 俊 直 冬	輔 和 淳 樹 輝
	予		算			600,000円

＜基本方針＞

沼津青年会議所が地域社会において重要な役割を果たす団体であり続けるために、温故知新を重んじ、未来に繋ぐための準備を行う。

＜事業計画＞

1. 第1例会の企画運営(1月・4月・7月・11月)
2. JCI沼津創立70周年に向けた調査・研究・準備
3. 長期運動指針に関する調査・研究・報告
4. 地域の調査・研究に関する業務
5. JC富士山交流会に関する業務
6. JCサミットIZU会議に関する業務

＜活動予定表＞

項目	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
第1例会の企画運営 (1月・4月・7月・11月)		○ 新年賀詞 交歓会			○ 沼津JC デー			○ 狩野川 灯ろう流し				○	
JCI沼津創立70周年に向けた調 査・研究・準備		←											→
長期運動指針に関する調査・研 究・報告		←											→
地域の調査・研究に関する業務		←											→
JC富士山交流会に関する業務		←											→
JCサミットIZU会議に関する業務		←											→
定例委員会 (第4金曜日)		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

総務・財務委員会事業計画

委員 長 芹 澤 俊 和
副委員 長 山 下 太 一
予 算 48,000円

＜基本方針＞

運営規程並びに会計規程、その他規程に定められた業務を遂行し、沼津青年会議所や正会員の円滑な活動に繋げる。

＜事業計画＞

1. 第1例会の企画運営(2月・6月・8月・12月)
2. 総会の設営、運営(2月・8月・12月)
3. 財務審査
4. 理事会の設営・運営並びに議事録作成・管理
5. 会員名簿の管理
6. 年次報告書の作成
7. 事務局の運営・維持・管理
8. シニアクラブに関する業務
9. 公式LINEの管理
10. 運営規程並びに会計規程、その他規程に定められた業務

＜活動予定表＞

項目 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
第1例会の企画運営 (2月・6月・8月・12月)		○ 第180回 定時総会				○		○ 第181回 定時総会				○ 第182回 定時総会
総会の設営、運営 (2月・8月・12月)		○ 第180回 定時総会						○ 第181回 定時総会				○ 第182回 定時総会
財務審査	←											→
理事会の設営・運営並びに議事録作成・管理	←											→
会員名簿の管理	←											→
年次報告書の作成	←											→
事務局の運営・維持・管理	←											→
シニアクラブに関する業務	←											→
公式LINEの管理	←											→
運営規程並びに会計規程、その他規程に定められた業務	←											→
定例委員会 (22日)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

会員・拡大委員会事業計画

委員 会 藤 川 淳
副委員 長 松 村 拓 郎
予 算 149,000円

<基本方針>

会員相互の連携を図ると共に、会員同士の絆を深め、組織の強化に繋げる。
会員一人ひとりに会員拡大の重要性を共有し、組織の強化に繋げるために会員を増やす。

<事業計画>

1. 第1例会の企画運営(5月・10月)
2. 例会セレモニーの準備並びに受付業務
3. 運営規程に定められた業務
4. 会員拡大に関する業務
5. 新入会員オリエンテーションの企画・設営
6. ゲスト及び新入会員のフォロー

<活動予定表>

項目	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
第1例会の企画運営 (5月・10月)						○					○ 新入会員 育成セミ ナー 最終会議		
例会セレモニーの準備並びに受付業務		←											→
運営規程に定められた業務		←											→
会員拡大に関する業務		←											→
新入会員オリエンテーションの企画・設営		←											→
ゲスト及び新入会員のフォロー		←											→
定例委員会 (第2金曜日)		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

渉外・広報委員会事業計画

委員 長 松 山 冬 輝
副委員 長 長 田 達 郎
予 算 140,000円

<基本方針>

正会員が各種大会・会議・セミナー等に円滑に参加できるように支援する。
広報記録業務を行い、活動の周知に力を注ぐ。

<事業計画>

1. 第1例会の企画運営(3月・9月)
2. LOM外の各種大会及びセミナー等に関する登録業務及び参加行動計画の作成・実行
3. 出向者との連絡調整業務
4. 龍山国際青年商會との連絡調整窓口
5. 例会・事業・セミナー等の活動記録・広報業務
6. WEBサイトに関する業務

<活動予定表>

項目	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
第1例会の企画運営 (3月・9月)				○ 東部9JC 合同公式 訪問例会						○ ブロック 大会			
LOM外の各種大会及びセミナー 等に関する登録業務及び参加行 動計画の作成・実行	○ 京都會議 (京都) 19～22日 ○ 出向者 合同會議 (熱海) 28日		○ 東部9JC 合同公式 訪問例会 (富士宮) 4日		○ 龍山國際 青年商會 訪問 (台灣)	○ JCI ASPA C (インドネシア /ジャカルタ) 7～10日	○ サマコンフ ア レンス (横浜) 22～23日 東海フォーラ ム			○ ブロック 大会 (浜松) 10日	○ 出向者 合同會議 (浜松) 全国大会 (東京) 5日～8日	○ 世界會議 (スイス/ チューリッヒ) 14～18日	
出向者との連絡調整業務	←												→
龍山國際青年商會との連絡調 整窓口	←												→
例会・事業・セミナー等の活動記 録・広報業務	←												→
WEBサイトに関する業務	←												→
定例委員会 (第1水曜日)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

出 向 者

◎静岡ブロック協議会 出向者

副 会 長		大 川 皓 平
持続可能な静岡創造委員会	委 員 長	長 田 達 郎
	運 営 幹 事	向 坂 真 奈 美
	会 計 幹 事	若 林 愛 弓
ア カ デ ミ ー 委 員 会		堀 江 直 樹
誇り高き静岡創造委員会		峰 田 泰 成
ビ ジ ネ ス 委 員 会		高 木 隆 太
		藤 川 淳

◎行政等委任委員

エフエムぬまづ株式会社 取締役	理 事 長
沼津駅の高架化を実現する市民の会 副会長	理 事 長
沼津市特別職報酬審議会 委員	理 事 長
沼津市制100周年記念事業推進連絡協議会 委員	理 事 長
沼津市社会福祉協議会 評議員	直前理事長
公益財団法人沼津振興公社 理事	直前理事長
沼津市夏まつり実行委員会灯ろう流し部会長	小 野 大 輔
燦々ぬまづ推進委員会	小 野 大 輔
沼津市緑化推進協議会	小 野 大 輔
沼津市暴力追放推進協議会 監事	高 木 隆 太
沼津市明るい選挙推進協議会	高 木 隆 太
沼津市市民憲章推進協議会	高 木 隆 太
沼津市「社会を明るくする運動」実施委員会	若 林 愛 弓
エフエムぬまづ番組審議委員会	若 林 愛 弓
沼津国際交流協会 理事	若 林 愛 弓
沼津夏まつり実行委員会	専 務 理 事
沼津駅の高架化を実現する市民の会 事務局	専 務 理 事

2023年度例会担当表

月	総会		第1例会	
1			11 (水)	70周年準備特別会議 新年賀詞交歓会
2	8 (水)	総務・財務委員会 定時総会	8 (水)	総務・財務委員会 定時総会
3			4 (土)	渉外・広報委員会 東部9JC合同公式訪問例会(富士宮)
4			7 (金)	70周年準備特別会議 沼津JCデー
5			8 (月)	会員・拡大委員会
6			8 (木)	研修担当 総務・財務委員会
7			28 (金)	70周年準備特別会議 狩野川灯ろう流し
8	8 (火)	総務・財務委員会 定時総会	8 (火)	総務・財務委員会 定時総会
9			10 (日)	渉外・広報委員会 第56回静岡ブロック大会(浜松)
10			6 (金)	研修担当 会員・拡大委員会 新入会員育成セミナー最終会議
11			8 (水)	70周年準備特別会議
12	8 (金)	総務・財務委員会 定時総会	8 (金)	総務・財務委員会 定時総会

定例会議・委員会日

会合日		会合名	時間	場所
第2木曜日		正副理事長会議	19:00 ~ 21:00	JCルーム
第4木曜日		理事会	19:30 ~ 21:30	JCルーム
8日		第1例会		
各月末日		財務審査	19:00 ~ 21:00	JCルーム
定例会議日	第4金曜日	70周年準備特別会議	19:00 ~ 21:00	JCルーム
	22日	総務・財務委員会	20:00 ~ 22:00	
	第2金曜日	会員・拡大委員会	19:00 ~ 21:00	
	第1水曜日	渉外・広報委員会	15:00 ~ 17:00	

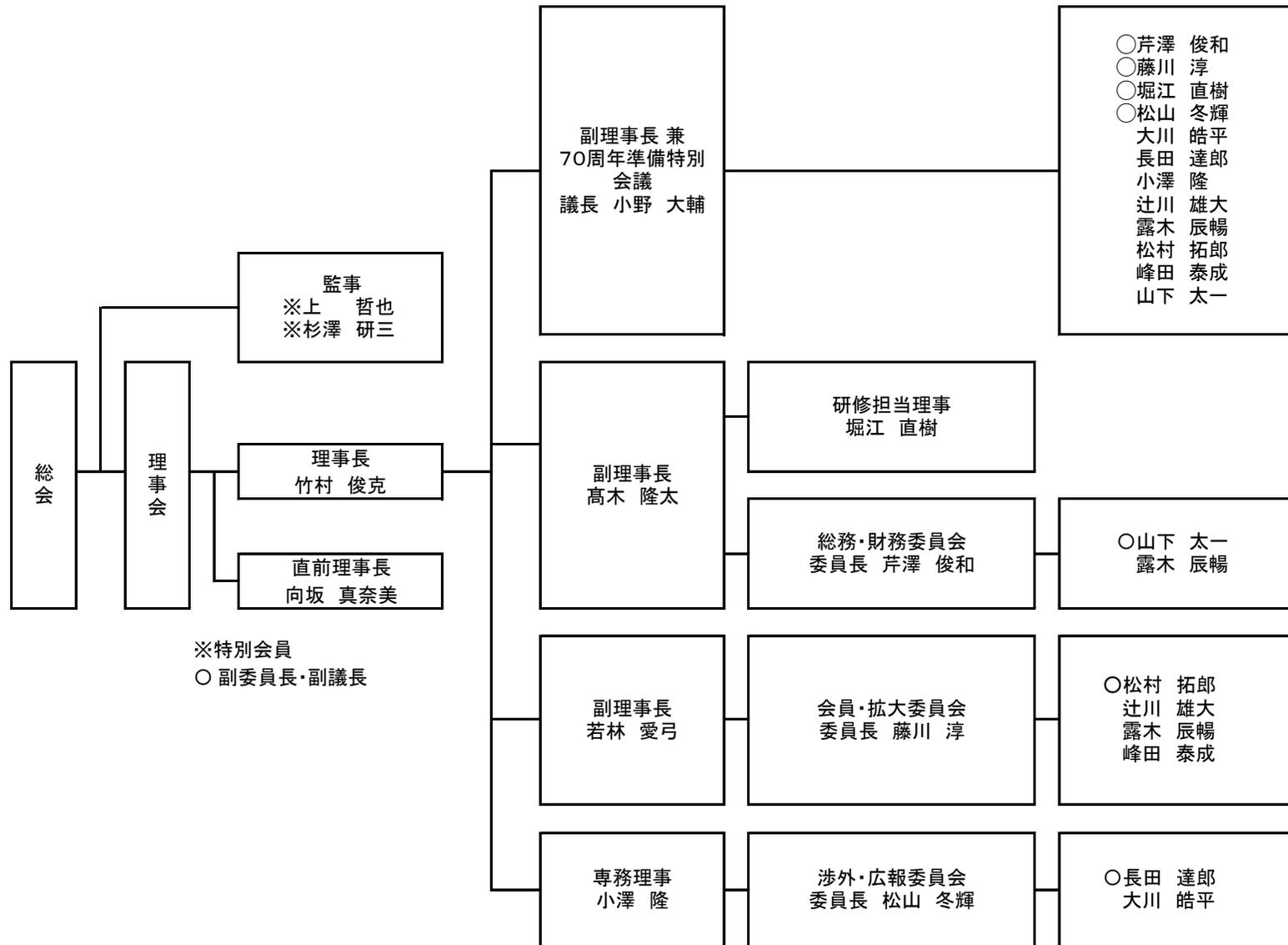
月1回	JCルーム清掃日	
-----	----------	--

2023年度 公式日程

	日本JC・JCI	東海地区	静岡ブロック	記念式典	例会等	理事会
1月	19日(木)～22日(日) 京都会議 21日(土) 総会 (京都)		28日(土) 第1回会員会議所会議 第1回出向者合同会議 (熱海)		11日(水) 第1例会 新年賀詞交歓会	26日(木)
2月			26日(日) 第2回会員会議所会議 (浜松)		8日(火) 第1例会 定時総会	22日(水)
3月	25日(土) 総会 (東京)				4日(土) 第1例会 東部9JC合同公式訪問例会 (富士宮)	23日(木)
4月			23日(日) 第3回会員会議所会議 (榛南)		7日(金) 第1例会 沼津JCデー	27日(木)
5月					8日(月) 第1例会	25日(木)
6月	7日(水)～10日(土) JCI ASPAC (インドネシア ジャカルタ)		4日(日) 第4回会員会議所会議 (浜松)	JCI榛南 24日(土) 40周年記念式典	8日(木) 第1例会	22日(木)
7月	22(土)～23日(日) サマーコンファレンス (横浜)	未定 東海フォーラム (未定)			28日(金) 第1例会 狩野川灯ろう流し	27日(木)
8月					8日(月) 第1例会 定時総会	24日(木)
9月			9日(土) 第5回会員会議所会議 (浜松) 10日(日) 第56回静岡ブロック大会 (浜松)	JCI袋井 23日(土) 55周年記念式典	10日(日) 第1例会 第56回静岡ブロック大会 (浜松)	21日(木)
10月	5日(木)～8日(月) 全国大会 7日(土) 総会 (東京)		22日(日) 第6回会員会議所会議 第2回出向者合同会議 (浜松)		6日(金) 第1例会 新入会員育成セミナー最終会議	26日(木)
11月	14日(火)～18日(土) JCI世界会議 (スイス チューリッヒ)				8日(火) 第1例会	22日(水)
12月			6日(水) 第7回会員会議所会議 (Zoom)		8日(金) 第1例会 定時総会	28日(木)

一般社団法人沼津青年会議所

2023年度 組織図



※特別会員
○ 副委員長・副議長

特別會員

- 59 故 宇野 紳七郎 (03年永眠)
61 故 野田 修 (15年永眠)
62 故 高橋 明 (15年永眠)
63 故 山内 益次郎 (06年永眠)
67 故 中山 欽司 (94年永眠)
68 友森 寛
69 水口 昌夫
71 故 大井 一郎 (16年永眠)
72 故 後藤 全弘 (19年永眠)
73 上田 雅義
74 市川 厚
75 故 大川 順康 (10年永眠)
76 池田 雅博
77 故 遠藤 康昌 (02年永眠)
88 石川 利郎
89 赤堀 肇紀
90 芦川 豊
91 坂井 義文
92 岩下 龍雄
93 故 石原 正和 (18年永眠)
94 綾部 恵市
95 井草 基之
96 石井 裕
97 石川 雄一郎
98 金澤 清文
99 故 秋山 佳彦 (17年永眠)
00 井口 清
01 市川 浩康
02 石渡 慎一
03 池田 宏明
04 青木 秀実
05 飯田 太志
06 井出 尚武
07 伊海 康之
08 伊藤 謙
09 芦澤 剛彦
10 井草 雅彦
11 金子 恭子
12 種田 善一
13 小山 弘道
14 勝又 康充
15 池田 高士
16 遠藤 啓太
17 海野 雅貴
18 天野 健太郎
19 伊藤 康広
20 佐々木 綱柄
21 杉澤 研三

入会年度年齢表

10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	生年 (年齢)	卒業 人数
													83 (40)	0
					山下				芹澤				84 (39)	2
向坂							小澤						85 (38)	2
	竹村									若林			86 (37)	2
						大川				松山			87 (36)	2
						峰田				辻川			88 (35)	2
													89 (34)	0
						高木						長田	90 (33)	2
													91 (32)	0
									小野	藤川			92 (31)	2
										堀江			93 (30)	1
													94 (29)	0
													95 (28)	0
										松村			96 (27)	1
													97 (26)	0
												露木	98 (25)	1

※アンダーバーは早生まれ